

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援 A 型事業所ひまわりくらぶ江田島
住所	江田島市能美町高田3355-1
電話番号	0823-45-0732

事業所番号	3413300090
管理者名	右近 清子
対象年度	令和 2年度

地域連携活動の概要

<活動内容>	<活動の様子>
<ul style="list-style-type: none"> JA全農ひろしま 広島県本部様と製造委託契約を令和1年10月に締結 弊社江田島事業所及び施設外広島工場でJA全農ひろしま様の農産物を加工品として付加価値の創造 お米を原料としたアイスクリームの商品開発 令和2年度、通期で商品開発、製造、販売活動 活動には10名以上の利用者が参画 	 <p>Three product labels for 'お米アイス' (Rice Ice Cream) are shown. The labels specify ingredients like rice, milk, and sugar, and provide nutritional information and storage instructions. The labels are for different varieties: 'お米アイス(ミルク)', 'お米アイス(きなこ)', and 'お米アイス(いちご)'.</p>
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> JA全農ひろしま様は県産品を加工品として商品開発地域の農家様のバックアップと農福連携 弊社においては、農産品の加工事業は、作業工程も多数あり、様々の特性の利用者参画を促進可能 	 <p>A photograph showing workers in a clean, industrial kitchen or factory setting. They are wearing blue protective suits and masks, and are focused on their tasks, likely related to the production of the rice ice cream.</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 『ひろしまお米アイス』を商品化、製造 JA全農ひろしま様直営店 元気市（2店舗）みのりカフェ、A-COOP等で店頭販売、及びJAタウン等でギフトとしてネット販売 地元百貨店福屋様にてギフト販売 弊社の製造能力の強化が今後の課題 	

連携先の企業等の意見または評価

<p>JA全農ひろしま様においては、2019年に耕畜連携を軸とした資源循環型ブランド『3-R』を立ち上げました『3-R』とは畜産業で生まれた推肥農作物や飼料用作物を栽培する為の肥料として『再利用RECYCLING』する『資源RESOURCE循環型農業』から生産された農畜産物、この活動を『繰り返すREPEAT』という活動この『3-R』活動の中で加工品の『3-R』商品の商品開発を進めていく中で、弊社において、【ひろしまお米アイス】【ひろしまライスバーガー】【広島県産冷凍野菜】等々も商品開発、販売まで実施出来た事を評価して頂いており、かつ今後も多品種の商品化を希望されています。</p> <p>農福連携についても評価して頂き、令和3年2月17日中国新聞にて、JA全農ひろしま様と弊社による、農福連携で農畜産物の加工品の商品開発の特集が掲載されました。</p>			
連携先企業名	全国農業協同組合連合会 広島県本部	担当者名	山里・竹林・道仲

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労継続支援 A 型事業所ひまわりくらぶ江田島
住 所	江田島市能美町高田3355-1
電話番号	0823-45-0732

事業所番号	3413300090
管理者名	右近 清子
対象年度	令和2年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		40 点
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(III) 多様な働き方 (※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計 (注1)	2	

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上 (※)		25 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合	○	
2回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
いずれの取組も行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)	6	

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点	20点	25点	40点					40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点	15				
支援力向上	0点	15点	25点	35点	25				
地域連携活動	0点	10点			10				

合計	130	点	／ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（R1年度）		雇用契約を締結していた延べ利用者数		利用者の1日の平均労働時間数	
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	1,262.35	時間	297	人	4.25
		時間		時間	

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）					
前々年度（H30年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	20,670,082	円	利用者に支払った資金総額	20,602,813	円
		円		円	
前年度（R1年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	23,255,569	円	利用者に支払った資金総額	23,012,095	円
		円		円	
		円		円	

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（R2年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 ● 名

※ 取得を進めた免許等： ○○○

◎ 制度の活用内容： ○○○

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 ● 名

◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※ 登用した日 ●年 ●月 ●日

勤務形態： ○○○

就業時間： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 ● 名

※ 実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（在宅勤務）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 ● 名

※ 実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（コアタイム）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 ● 名

※ 実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（短時間）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 ● 名

※ 実施した期間： ●月●日～●月●日

就業時間（早出の場合）： ●時●分～●時●分

就業時間（遅出の場合）： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 ● 名

◎ 計画的付与制度を活用した人数 24 名

※ 取得した制度： 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間： 5月4日～3月25日

取得日数・時間 48日 216時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 ● 名

※ 取得した内容： ○○○

取得した期間： ●月●日～●月●日

就業時間： ●時●分～●時●分

職務内容： ○○○

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（R2年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している

◎ 研修実施回数 外部 1回/内部 ●回

対象職員数 8人

うち研修受講者数 5人

※ 研修名 養生シフトメンタル研修

研修講師 山田 賢一

実施日・受講者数 4月 6日 5人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 1回

※ 研修、学会等名 就業生活支援センター「スプア」

実施日 6月 18日

※ 学会誌等名 ○○○

掲載日 ●月 ●日

発表テーマ 障害者雇用について

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している

◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている

※ 先進的事業者名 ○○○

実施日/参加者数 ●月 ●日 ●人

※ 他の事業所名 ビビットワークはかた

実施日/参加者数 4月 7日 2人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 2回

※ 商談会等名 オルケストラハウス 商談会

主催者名 呉広域商工会

日時 1月 13日

内容 関東方面のバイヤー様と対面オンライン同時に商談

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している

◎ 当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 ●年 ●月 ●日

人事評価制度の対象職員数 ●名

うち昇給・昇格を行った者 ●名

当該人事評価制度の周知方法 ○○○

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している

◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している

※ 配置期間 ●月●日～●月●日

就業時間

職務内容 ○○○

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※ 評価を受けた日 ●月 ●日

第三者評価機関 ○○○

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証を受けている

※ 認証を受けた日 ●月 ●日

規格等の内容 ○○○

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、